

■取組2-2 歴史・文化資源等を活用した出張事業の推進【◇】	文化財係・自由民権資料館・文学館
--------------------------------	------------------

事業概要	町田市の歴史や文化についてより多くふれてもらえるよう、学校や子どもセンターでの講座や市民センターなどでの展示の実施、他部署が主催するイベントへの参加など、歴史・文化に関する資源や情報を活用した学習事業を様々な地域で展開します。				
これまでの取組	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習総務課では、市庁舎イベントスタジオでの東京文化財ウィークに合わせた企画展示や青少年施設ひなた村などでの文化財の展示を行うほか、自治体主催の歴史講座や大学の講義、中学校の歴史の授業などでの出張講義を行っています。 文学館では、小学校での出張講座として、町田ゆかりの俳人の紹介と俳句クイズを行う「俳句であそぼう！」や、市庁舎イベントスタジオでの出張展示を実施しています。 				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	出張事業（展示・イベント・講座等）の実施件数		28件	40件	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	事業内容の検証		検証を踏まえた新たな事業の実施		
	出張事業の実施及び周知、関係機関への働きかけ				
年度目標	30件	32件	34件	37件	40件

<2022年度の事業実績>

実績値	37件
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> アウトリーチ展示、自由民権資料館に係る講演会、地域の史跡などをめぐるフィールドワーク、地域の歴史に関する小中学校向け出張歴史授業など、37件の事業を実施しました。
課題	<ul style="list-style-type: none"> 様々な場所で出張事業を実施できるようになりましたが、そこで学んだ方が自由民権資料館や考古資料室、市民文学館ことばらんどといった文化施設にも足を運んでもらえるような仕掛けが必要です。 小中学校向け出張歴史授業を効果的・継続的に行うためには、学校側のニーズをきちんと把握することが必要です。 出張授業を継続的に行うために教員との連絡を密にとり学校のニーズを把握することが必要です。 多くの学芸員が出張授業を実施できるようにするためのマニュアルの整備が必要です。
今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、様々な年齢層にアプローチできる場所で出張事業を実施します。 出張事業で町田市の歴史や文化について興味を持つきっかけをつくり、自らもっと学びたいと思えるようにするために、事業内容を工夫して実施します。

■取組2-5 生涯学習施設の利用促進	文化財係・自由民権資料館・生涯学習センター・図書館・文学館
---------------------------	-------------------------------

事業概要	より多くの市民に生涯学習施設を知ってもらい、幅広い世代の利用につながるよう、リーフレットやホームページ、SNSを利用した情報発信のほか、各施設の相互PRをはじめ、市内外の各機関と連携したPR活動を進めます。			
これまでの取組	リーフレットやホームページ、SNSを利用した情報発信を行っています。			
活動指標	指標	現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	①連携して行うPR活動件数	4件	10件	
	②SNS発信数	219回	800回	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	新たな連携先の検討・調整	新たな連携先とのPR活動の実施	検証	検証結果に基づくPR活動の見直しと実施
	SNSを利用した情報発信			
年度目標（指標①）	5件	6件	7件	8件
年度目標（指標②）	520回	610回	670回	720回

<2022年度の事業実績>

実績値（指標①）	7件
取組状況（指標①）	自由民権資料館の事業を市内各施設で実施しました：文学館での記念講演会1件、図書館での特別講座3件、子どもセンターでの体験講座2件、中央図書館での特集コーナーの設置1件
実績値（指標②）	56回
取組状況（指標②）	自由民権資料館：Twitter発信数56回
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・自由民権資料館が、自由民権運動とともに町田市の歴史を知ることができる郷土資料館であることを広く知ってもらうことが重要です。 ・これまでに自由民権資料館を利用したことのない方に向けた実施事業や施設のPRが必要です。
今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・自由民権資料館を広く知ってもらうために愛称の募集を行うと同時に、町田の歴史を知る施設であることをアピールします。 ・新たに開講するまちだ歴史講座「まち歴」の魅力をホームページやTwitterなどで積極的に情報発信を行います。

■取組3-2 町田の歴史情報の提供【◇】 文化財係・自由民権資料館

事業概要	市民の郷土への理解や愛着がさらに深まるよう、町田の歴史をわかりやすく伝える「町田デジタルミュージアム*」を構築し、公開します。				
これまでの取組	新規事業				
活動指標	指標			現状値（2017年度）	目標値（2023年度）
	町田デジタルミュージアム構築の進捗			未実施	システム構築完了、公開（2022年度）
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	歴史資料分構築・公開	考古資料分構築・公開	考古及び民俗資料分構築・公開	公開・利用促進	
	歴史コンテンツ編集				
年度目標	歴史資料分公開	考古資料分公開	考古及び民俗資料分公開	公開	公開・検証

*町田デジタルミュージアム：町田市が所蔵する考古、歴史、民俗資料をデジタル化し、インターネット上で閲覧できるようにする仕組みのこと。

<2022年度の事業実績>

達成状況	A 計画以上に目標を達成した
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・2022年4月1日から町田デジタルミュージアムを公開し、2023年3月31日時点でアクセス数が372,749件ありました。 ・町田デジタルミュージアムをより多くの方にご利用いただくために、ポスター・チラシの作成や動画の配信を実施しました。 ・自由民権資料館や考古資料室の展示をリニューアルする際、二次元コードを設置し、町田デジタルミュージアムと連携できるようにしました。 ・小学校での出張歴史授業実施時には、クロームブックを使って町田デジタルミュージアムの活用を図りました。 ・市内文化財の説明板6ヶ所に町田デジタルミュージアムの二次元コードを設置しました。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・町田デジタルミュージアムの利用状況を検証し、公開内容の更新に向けた検討が必要です。
今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・町田デジタルミュージアムとの連動を図りながら、自由民権資料館・考古資料室・三輪の森ビジターセンターでの展示や出張事業を実施します。

■取組3-4 文化財の維持・保護・復旧の推進	文化財係
-------------------------------	------

事業概要	文化財を維持・保護し、下三輪玉田谷戸横穴墓群*、細野喜代四郎書斎*など、未整備、未公開の文化財の復旧・修復を推進します。				
これまでの取組	横穴墓、古民家など市内の指定文化財を復旧し、整備を進めています。				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	下三輪玉田谷戸横穴墓群復旧整備		現況測量完了	整備完了・公開	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	整備 事前準備	保存管理計画策定 遺構再確認 調査、保存 処理調査	実施設計	整備工事	公開
年度目標	史跡整備事前準備完了	保存管理計画策定開始 遺構再確認調査 保存処理調査	保存管理計画策定完了 実施設計	整備工事	整備完了・公開

*下三輪玉田谷戸横穴墓群：古墳時代後期（7世紀ごろ）の地域の有力者の墓。崖面に横穴を掘り遺体を安置した。都内で唯一、墓の内部に家形の彫刻が施されている。

*細野喜代四郎書斎：町田を代表する自由民権運動家・細野喜代四郎が書斎として愛用した土蔵。解体され、現在部材の状態で保管されている。

<2022年度の事業実績>

達成状況	E 目標を大きく下回った、実施できなかった
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な点検、清掃を行いました。 ・町田デジタルミュージアムで下三輪玉田谷戸横穴墓群の内部を3Dパノラマビュー画像で公開しています。内部への立ち入りを禁止しているため、現地入口部分に町田デジタルミュージアム該当ページの二次元コードを設置しました。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・横穴墓内の天井や壁の崩落は進行しており、状況観察を継続的に行う必要があります。
今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・保存管理計画策定に向けて劣化を最小限に抑えるため、必要に応じて応急的な保存措置を講じます。

■取組3-5 文化財の公開・活用の充実	文化財係
----------------------------	------

事業概要	文化財を積極的に公開・活用し、市民が文化財に触れ合える機会をより多く提供します。				
これまでの取組	市内の指定文化財の公開・活用イベントを実施しています。				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	文化財の公開・活用イベント件数		4件	6件	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	イベント4件実施			イベント5件実施	イベント6件実施
	イベント内容検証		イベント内容検証・新規イベント検討	イベント内容検証・新規イベント検討	イベント内容検証・新規イベント検討
	4件	4件	4件	5件	6件

<2022年度の事業実績>

達成状況	B 目標を達成した
取組状況	<p>下記5件の文化財の公開・活用イベントを実施しました。</p> <p>①国指定史跡高ヶ坂石器時代遺跡見学会 ②旧永井家住宅「デジタル掛け軸」 ③着物で楽しむ薬師池の秋満喫さんぽ（旧荻野家住宅が着付け会場） ④文化財防火デー ⑤町田市考古資料室リニューアルオープン記念特別開室（3日間）</p>
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財を公開・活用するには、破損が生じないような対策が必要です。 ・公園内にある文化財については、公園のイベント等と積極的に連携して行うことで相乗効果を図っていく必要があります。 ・デジタル技術を活用した事業も検討していく必要があります。
今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財の破損防止対策を講じるなど、文化財の保護と公開・活用の両立を図ります。 ・デジタル技術を活用した効果的な公開・活用のあり方を検討し実施します。

■取組3-6 展示事業の充実 自由民権資料館

事業概要	自由民権運動と町田の歴史情報をさらに発信できるよう、これまで収集・整理した市域の歴史資料を基にした企画展や、収蔵資料に加え関連資料を市内外の施設や個人から借用し展示する特別展を実施します。				
これまでの取組	企画展・特別展を年3回実施しています。 また、来館者アンケートにより展示等、資料館の満足度について調査を実施しています。				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	資料館への満足度 (来館者アンケート)		77%	85%	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	企画展・特別展 2回実施	企画展・特別展 3回実施	企画展・特別展 3回実施	企画展・特別展 3回実施	企画展・特別展 3回実施
	展示・展覧会の内容の検証・改善				
	来館者アンケートによる調査・検証・改善				
年度目標	80%	82%	83%	84%	85%

<2022年度の事業実績>

達成状況	B 目標を達成した
取組状況	<p>常設展をリニューアルし、11月から「自由民権運動と町田」展、2月から「町田の歴史—くらしでたどる人びとのくらし—」展を公開しました。町田市域の原始から現代までの歴史を紹介する通史展を常設で開設するのは市内で初めての試みとなります。</p> <p>11月の常設展リニューアル以降の来館者アンケートでは、「興味深かった」または、「興味を持てた」と回答した方の割合は平均96%でした。</p>
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・2022年度にリニューアルした2つの常設展示を多くの方にご覧いただくための取組が必要です。 ・身近な場所で、ホンモノの資料を見ながら町田の歴史を学ぶことができるよう、近隣の小中学校の児童生徒が気軽に参加できる事業を行う必要があります。
今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・夏季に「町田のおカイコさん」展を自由民権資料館と三輪の森ビジターセンターで同時開催します。 ・自由民権資料館の愛称募集期間内に展示解説日を設けて近隣の小中学校に呼びかけるなど、施設を知ってもらうことと展示の両方のPRを実施します。

■取組3-7 講座・講演会事業の充実		自由民権資料館			
事業概要	より深く歴史について学びたいという市民のニーズに応えられるよう、古文書講座や町田自由民権カレッジを実施するほか、特別展・企画展に関連した講演会や講師を招いた講座・講演会等を実施します。				
これまでの取組	古文書講座、町田自由民権カレッジのほか特別講座や、特別展に関連した講演会を実施しています。				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	講座・講演会等の実施回数		60回	70回	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	講座・講演会 40回実施	講座・講演会60回実施		講座・講演会70回実施	
	講座・講演会の内容の検証・改善				
年度目標	40回 ※改修工事の為	60回	60回	70回	70回

<2022年度の事業実績>

達成状況	D 目標に達しなかった
取組状況	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため、狭隘スペースである資料館閲覧室で実施する講座を中止し、古文書講座及び町田自由民権カレッジについて、事業内容を見直すための検討を実施しました。</p> <p>一方、常設展リニューアル関連事業「記念講演会」、『町田市史史料集』掲載の史料を読み解く「特別講座」、地域の史跡などを歩いてめぐる「町田の歴史を歩く2023」などを市内の公共施設で開催したほか、小中学校への出張授業、市民大学等への出張講師などを計32回実施しました。</p>
課題	<ul style="list-style-type: none"> 町田自由民権カレッジを再構築し、これから町田市の歴史を知ろうとする方からより深く町田の歴史を知りたい方など、幅広いニーズに合わせた講座を企画・運営することが必要です。
今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 古文書講座は、前期・後期を分けて募集するとともに、収容人数の多い市内の施設に会場を移すことで、多くの方に学びの機会を提供します。 町田の歴史を学ぶための講座を、ターゲット層に応じた内容を企画して実施します。

■取組4-2 協働による研究・発表の推進【◇】	自由民権資料館・文学館
-------------------------	-------------

事業概要	市民の学習・研究意欲が高まり、学んだ成果を地域に還元してもらい、市民の学習・研究活動の支援を行うとともに、協働して研究成果物の刊行や企画展・イベント等を実施します。				
これまでの取組	<ul style="list-style-type: none"> 自由民権資料館では、古文書講座や自由民権カレッジなどの修了生が組織する歴史研究グループの研究活動を支援しています。また、資料館の収蔵する史料の整理の一部を学生ボランティアの協力により行っています。 文学館では、2年を任期として市民がテーマを設定して研究を進める「市民研究員制度」を実施しています。また、市民研究員との協働により定期的に研究成果物を刊行し、研究発表の支援を行っています。 				
活動指標	指標	現状値（2017年度）	目標値（2023年度）		
	①研究成果物の刊行に向けた事業数	6事業	8事業		
	②研究発表会等の実施回数	未実施	毎年度実施		
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	研究支援及び成果物の刊行				
	企画展・研究発表会検討		企画展・研究発表会実施		
年度目標 (指標①)	6事業	7事業	7事業	8事業	8事業
年度目標 (指標②)	検討	実施	実施	実施	実施

<2022年度の事業実績>

実績値 (指標①)	8事業
取組状況 (指標①)	<ul style="list-style-type: none"> 地域で歴史を研究する団体が定期的に活動できるよう支援を行い、資料集の刊行に向けた解読作業を5事業（「御上洛御供日記」、「晴雨日記」、「村野日誌」、「鶴川青年団文書」、「天野政立文書」）、目録の作成に向けた整理を3事業（「河井家文書」、「若林家文書」、「浪江度関係史料」）実施しました。また、解読作業のうち1件については、「村野日誌2」として刊行することができました。
実績値 (指標②)	
取組状況 (指標②)	
課題	<ul style="list-style-type: none"> 地域で歴史を研究する団体の活動を支援するとともに、より多くの学習機会を提供するため、史料整理を進める必要があります。
今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 地域で歴史を研究する団体の活動支援をしつつ解読作業を継続するとともに、選定した重要史料群を優先的に整理を進めます。

■取組5-3 文化財の保存と活用環境の整備【◇】 文化財係

事業概要	発掘調査や環境整備によって、牢場遺跡・稻荷山遺跡・八幡平遺跡からなる高ヶ坂石器時代遺跡を維持保存できるようにし、文化財の魅力をより広く伝えられるよう積極的に公開活用します。				
これまでの取組	遺跡整備工事、現場公開を各年度実施しました。 2016年度：稲荷山遺跡工事・公開、八幡平遺跡工事 2017年度：牢場遺跡工事・公開 2018年度：牢場遺跡史跡公園用地買収、牢場遺跡工事、八幡平遺跡工事				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	高ヶ坂石器時代遺跡整備進捗		整備着手	八幡平遺跡整備工事、牢場遺跡買収地整備工事、ガイダンス施設基本設計	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	八幡平遺跡整備工事	八幡平遺跡整備工事、牢場遺跡買収地設計	八幡平遺跡公開・見学会実施	高ヶ坂石器時代遺跡見学会実施	八幡平遺跡整備工事、牢場遺跡買収地整備工事、ガイダンス施設
年度目標	八幡平遺跡整備工事	牢場遺跡設計 八幡平遺跡整備	八幡平遺跡公開・見学会実施	牢場遺跡整備 ガイダンス施設基本計画	ガイダンス施設基本設計、展示基本設計

<2022年度の事業実績>

達成状況	B 目標を達成した
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> 高ヶ坂石器時代遺跡の見学会を2022年11月に実施しました。応募開始から1時間程で定員に達し、参加者の満足度も高い結果となりました。 八幡平遺跡と牢場遺跡に新規の遺跡説明板を設置しました。 高ヶ坂石器時代遺跡を含む「遺跡マップ」を作成し、考古資料室や自由民権資料館で配布を開始しました。 2022年4月1日から公開を開始した「町田デジタルミュージアム」で、高ヶ坂石器時代遺跡の詳しい内容を公開しました。
課題	<ul style="list-style-type: none"> 未整備箇所を着実に整備していく必要があります。 文化財保護に対する市民の理解をえるため、積極的な情報発信により遺跡の認知度を高める必要があります。
今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 2018年度に取得した牢場遺跡内の土地の整備工事を実施します。 八幡平遺跡の整備工事（植栽等）を実施します。 ホームページでの情報掲載、見学会の開催などを通じて、遺跡の魅力を発信します。

※まちだ〇ごと大作戦：主体的に「〇〇をやりたい」という思いをもった人が、新しい人と出会い、つながることで、地域活動や市民活動が盛り上がり、新たな価値が生まれ、地域や町田の活力を高めていく取り組み。

■取組5-4 歴史・文化資源の調査・研究・保存 自由民権資料館

事業概要	所在調査・探索により発見された史料、寄贈・寄託等の申し出がある市域の各家等に残る史料を整理して、半永久的な学習・研究資源とするために保存環境を整えます。また、整理した史料は、利用者の希望に応え、展示や刊行物に還元できるよう目録を作成します。				
これまでの取組	市民ボランティアや大学等との協働により史料整理を行い、新たな史料の寄贈・寄託を受け入れながら仮目録の作成を進めています。				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	①史料整理数（累計）		42,000点	67,000点	
	②目録作成点数		0件	3件目着手	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
年度目標（指標①）	47,000点	52,000点	57,000点	62,000点	67,000点
年度目標（指標②）	1件目 作成作業	1件目 作成完了	2件目 作成作業	2件目 作成完了	3件目 作成作業

<2022年度の事業実績>

達成状況（指標①）	B 目標を達成した
取組状況（指標①）	<ul style="list-style-type: none"> 市民ボランティアや大学等との協働作業などで史料整理を進め、計約6,400点の史料整理を行い、計約62,000点完了しました。 「浪江虔関係史料」、「野津田町・河井家文書」、「小川・細野家文書」、「相原・青木家文書」等の整理作業を進めています。
達成状況（指標②）	D 目標に達しなかった
取組状況（指標②）	史料目録の作成については、目録を公表する方法を紙の刊行物からインターネット上のデジタルコンテンツとして発表する方法に変更しました。広く活用できるように公表の準備を進めています。
課題	今後も、市史編さん事業を見据え市域の重要史料の整理に取り組む必要があります。
今後の取組の方向性	重要史料群（「野津田町・河井家文書」、「小川・細野家文書」、「小野路町・細野家文書」、「相原町・青木家文書」）の整理を優先的に行います。